

# 9月のほけんだより

令和2年9月号  
第一ルンビニ園

例年にない連日の猛暑日で寝苦しい夜が続いていますが、少しずつ気温が30℃を下まわる日が多くなり過ごしやすくなってきました。夕暮れ時に聞こえる虫の音にも秋の気配を感じます。暑い夏を元気いっぱい過ごした子ども達ですが、残暑も厳しくそろそろ夏の疲れがでてくる頃でもあります。朝ごはんをしっかりと食べ、睡眠も十分にとり生活のリズムを整えていきましょう。

## 《 園児の健康状況 》

- ☆ 8月は0・1歳児クラスで突発性発疹症が4名でました。生後6か月～2歳の乳幼児に多くみられ、高熱が3～4日続き解熱した後に全身に細かな赤い発疹（紅斑）があらわれるのが特徴です。発疹が出る頃には感染力も弱く発疹も数日で治まります。突発性発疹症は一度しかかからないと思われがちですが、原因となるウィルスが2種類あるので2回かかってしまう事がありますので注意しましょう。
- 又、溶連菌感染症がひまわり組、ゆり組でそれぞれ1名ずつ発症しています。お休み中の発症という事もありその後の広がりはありません。
- 特徴的なのが扁桃炎で、喉が腫れて痛みや熱がでます。全身に赤い発疹が出たり舌に莓のようなぶつぶつ（莓舌）がでたりします。抗菌薬で治療をしますが、薬を途中でやめてしまうと腎炎等の合併症をひきおこすことがありますのでしっかり期間を守って薬を飲むことが大切です。繰り返し感染してしまう事もありますので、お子さんの体調観察の方を引き続きよろしくお願いします。



9月9日は  
救急の日

## 子どもの事故防止のために ～日頃から心がけたいこと～

### 誤飲・誤えん・窒息

子どもの死亡原因で各年齢の上位を占めているのは「不慮の事故」です。不慮の事故の中で「窒息」は0歳が89.9%、1～4歳では35.1%、5～9歳では17.6%を占めています。

#### 事例 タバコの誤飲

胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りをして、その間に子どもがそこからタバコをとって少量かじってしまった(0歳)。



#### 事例 あめの誤えん

あめを食べたまま走り出して飲み込んでしまい、息ができなくなってしまった。背中を叩いて、あめを出した(4歳)。

#### 事例 フードによる窒息

…滑り台を滑ろうとしたら、後ろの子にパーカーのフードを引っ張られてしまい、首が絞まりそうになった(5歳)。



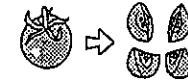
### 気をつけたいポイント

#### 誤飲

- タバコ、ボタン電池、医薬品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置きます。
- 医薬品などは、子どもの見ているところで飲まないようにします。
- 乾燥剤なども間違えて食べることがあるので、処分します。

#### 誤えん

- ミニトマトやぶどうなど、丸くてつるつるした食品は、小さく切って食べさせるようにします。
- あめやグミなどを食べる時は、落ち着いた環境で、座って食べます。



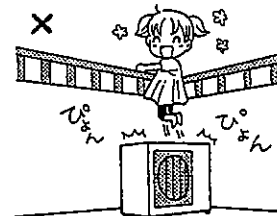
#### 窒息

- フードやひもなどがついていない洋服にします。  
※子どもの事故の発生を受けて、JIS規格の制定が行われています
- シールやポリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息することがあるので、子どもの手の届かないところに置きます。

### 転倒・転落

子どもの死亡原因「不慮の事故」のうち「転倒・転落」は1～4歳が10.5%、5～9歳では8.8%を占めています。0歳は0%でした。

#### 事例 ベランダの転落



ベランダに置いてある室外機に登り、ベランダの柵につかまって、びよんびよんと飛び跳ねていた(2歳)。

### 気をつけたいポイント

- 子どもだけでベランダに出ないように、手の届かない場所に、かぎをつけます。
- ベランダに植木鉢やいすなどの踏み台になるものを置かないようにします。
- 自転車の幼児用座席に子どもを座らせたまま、離れないようにします。

- 公園の遊具などで遊ぶ場合は、おとながそばでつき添います。

